

3学期の始業式

今日は少し難しいお話をします。

今から2500年も前から、人々は、「人間にとって大切なことは何だ」と考え続け、5つの人間にとって大切なことを見つけ出しました。

それが今日お話しする「仁・義・礼・智・信」の5つです。

この「仁・義・礼・智・信」の5つは、日本でもずっと小学校1年の時から、寺子屋という学校で、教えてられました。だからそのころは、立派な日本人がたくさんいました。

ところが今から約80年前、日本が戦争に負けてから、学校でこの、人間にとって一番大事な「仁・義・礼・智・信」を教えないようになりました。

だから現在日本に悪い事件がたくさん起こるようになったのです。

日本から、こういった悪いことが少しでもなくなっていくためには、みんながこの「仁・義・礼・智・信」を知ることが必要だと考えています。

まず「仁」です。これは思いやりの心です。これを持つにはどうすればよいか。それは、自分がやられて嫌なことは人にはしないようにすることです。

次に「義」を飛ばして「礼」です。これは、だれにでも正しい態度をすることです。4月には、1年生が入ってきます。その1年生に対しても「おはよう」や「ありがとう」、もし自分が1年生に教えたことが間違っていたら「間違ってたよ」って言えますか？

そして「智」です。これは善いことと悪いことを見分ける力です。いつも「これは善いことか、悪いことか」を考えているとその力がついてきます。

さっき飛ばした「義」です。今日はこれを覚えてほしいと思います。これは「誰も見ていなくても、善いことをする。悪いことはしない。」ということです。むかしこんなお話がありました。

「ある大金持ちの人が、悪いことをして警察の人につかまりそうになりました。そこで悪い大金持ちの人は『これだけのお金をあげるから見逃してくれよ。このお金をお前がもらっても私はだれにもしゃべらない。だから俺を見逃したことはだれも知らないぜ』と言いました。警察の人は、こう言いました。「天知る、地知る、我知る、子（なんじ）知る」（誰も知らないことはない。天が知っている。この地も知っている。私自身も、おまえも知っている。）そして悪い人をつかまえてしまいました。

私も子どものころに両親からよくこう言われていました。「悪いことをしたらいけない。誰も見ていないと思っても、お天道（おてんと）様は必ず見てくれるんだ。」

こうやって、仁義礼智を身につけていくと、他のみんなにあなたに対する「信」が芽生えてくる。これが人間で最も大切な「仁義礼智信」です。

今日はこの中の、「義」の「お天道様は見てくれる」を覚えてほしい。そして誰も見ていないところでも善いことをする、誰も見ていなくても悪いことはしない、そんな人になってほしいと思います。